

## 小規模企業景気動向調査 [2024年1月期調査]

### ～高止まりするコストに続き、震災や暖冬の影響で改善傾向に歯止めがかかる小規模企業景況～

#### <産業全体>

1月期の産業全体の景況は、採算 DI がわずかに改善し、資金繰り DI が小幅に改善した一方で、業況 DI が小幅に悪化し、売上額 DI が大幅に悪化。全産業で売上額 DI が悪化した。前年同月比で見ると、全 DI が改善し、採算・資金繰り・業況 DI においては2桁ptの改善をしているものの、コスト高騰に加え、一部では震災や暖冬での積雪量減少による影響も見られ、改善傾向に歯止めがかかった。

| DI   | 12月    | 1月     | 前月比   |
|------|--------|--------|-------|
| 売上額  | 15.3   | 8.1    | ▲ 7.2 |
| 採算   | ▲ 18.0 | ▲ 16.8 | 1.2   |
| 資金繰り | ▲ 16.9 | ▲ 14.1 | 2.8   |
| 業況   | ▲ 9.2  | ▲ 11.3 | ▲ 2.1 |

#### <製造業(食料品、繊維、機械・金属)> 業種ごとにバラつきはあるが、引き続き好調を維持する製造業

製造業は、資金繰り DI が小幅に改善、業況 DI が小幅に悪化し、売上額 DI が大幅に悪化した。食料品及び繊維関連は、売上額 DI が大幅に悪化した一方、前年同月比では、売上額 DI が2桁pt超の大幅改善と好調であった。人手不足の影響からの機会ロスや、人件費高騰への対応に苦慮しているとのコメントが目立つ。機械・金属関連は、全 DI が悪化に転じ、売上額 DI が大幅に悪化。メーカーの生産ラインが、調整により停止しているとのコメントがあった。

| DI   | 12月    | 1月     | 前月比   |
|------|--------|--------|-------|
| 売上額  | 17.6   | 10.5   | ▲ 7.1 |
| 採算   | ▲ 17.4 | ▲ 17.8 | ▲ 0.4 |
| 資金繰り | ▲ 17.0 | ▲ 13.9 | 3.1   |
| 業況   | ▲ 7.8  | ▲ 10.4 | ▲ 2.6 |

#### <建設業> 民間・公共事業を中心に好調も、人手不足が深刻化する建設業

建設業は、売上額 DI が小幅に悪化、採算・資金繰り・業況 DI は改善を示した。売上額 DI は、前年同月と比較すると2桁pt超の大幅改善となった。民間・公共工事ともに受注が増加しており、他業種に比べて好調を維持している。一方で、以前にも増して、人手不足の問題が深刻化しており、思うように売上アップに繋がっていない。能登地震の復興需要が本格化すれば、さらに人材確保難が深刻化するとのコメントがある。

| DI   | 12月    | 1月     | 前月比   |
|------|--------|--------|-------|
| 売上額  | 15.6   | 12.4   | ▲ 3.2 |
| 採算   | ▲ 21.9 | ▲ 19.7 | 2.2   |
| 資金繰り | ▲ 22.7 | ▲ 15.7 | 7.0   |
| 業況   | ▲ 12.2 | ▲ 12.0 | 0.2   |

#### <小売業(衣料品、食料品、耐久消費財)> 前年比2桁改善も、物価高による消費低迷が課題の小売業

小売業は、採算 DI がわずかに改善した一方で、業況 DI が小幅に悪化、売上額 DI が大幅に悪化した。前年同月比では売上額は改善している一方で、他業種と比較すると、全 DI で弱さがみられる。衣料品及び食料品関連は、売上額・業況 DI が大幅に悪化した。高単価商品の買い控えなど、物価高による消費低迷が、大きく影を落としている。耐久消費財関連も売上額 DI が大幅に悪化。7期連続でプラスを維持していたが、マイナスに転じた。消費低迷に加え、暖冬による暖房器具等の需要低下がみられる。

| DI   | 12月    | 1月     | 前月比   |
|------|--------|--------|-------|
| 売上額  | 11.2   | 2.0    | ▲ 9.2 |
| 採算   | ▲ 22.1 | ▲ 21.0 | 1.1   |
| 資金繰り | ▲ 18.4 | ▲ 18.6 | ▲ 0.2 |
| 業況   | ▲ 13.7 | ▲ 17.3 | ▲ 3.6 |

#### <サービス業(旅館、クリーニング、理・美容)> 震災の影響も見られ、業況回復への道のりは遠いサービス業

サービス業は、採算・資金繰り DI がわずかに改善した一方で、業況 DI が小幅に悪化し、売上額 DI は大幅に悪化した。旅館関連は、資金繰り DI がわずかに改善した一方で、売上額・業況 DI が大幅に悪化。インバウンド需要は好調だが、能登半島地震により、予約キャンセルが相次いでいる。クリーニング関連は、採算 DI が大幅に改善した一方で、売上額 DI が大幅に悪化。旅館業での予約キャンセルがリネンの減少に繋がり、売上が減少した、とのコメントがみられた。理・美容関連は、採算・資金繰り・業況 DI がわずかに改善した一方で、売上額 DI が小幅に悪化。業況は横ばいで推移している。

| DI   | 12月    | 1月    | 前月比   |
|------|--------|-------|-------|
| 売上額  | 16.9   | 7.5   | ▲ 9.4 |
| 採算   | ▲ 10.6 | ▲ 9.0 | 1.6   |
| 資金繰り | ▲ 9.6  | ▲ 8.0 | 1.6   |
| 業況   | ▲ 3.1  | ▲ 5.7 | ▲ 2.6 |

#### 調査概要

- ・調査対象: 全国 302 商工会の経営指導員(有効回答数: 226/回答率 74.8%)
- ・調査時点: 2024 年 1 月末
- ・調査方法: 対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式
- ※ DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。